

## 未来を開く 西武信用金庫 >8< 支店長に聞く

月2回のペース  
で掲載します

### 創業支援取扱トップ 不動産向けはポートフォリオ提案も 千駄ヶ谷支店

当支店は、合併前の千駄ヶ谷信用組合の最初の店舗として1929年に設立された店舗で、この地で87年の歴史があります。営業エリアは北側がJR新宿駅東口から新宿御苑の北側まで、南はJR原宿駅北側、東はJR千駄ヶ谷駅、西は小田急線参宮橋駅までです。現在、建て替えのために仮店舗で営業を行っており、来年4月には新店舗に移転します。

営業エリア内の代々木や千駄ヶ谷地区は中小アパレルやIT関連企業が多く、新たに事務所を構えて起業する人が増えています。融資先では不動産賃貸業が多いのも特長です。このため事業支援案件も東京信用保証協会と連携した創業支援

と不動産賃貸向けの節税サポートが中心です。創業支援では、昨上半期に全支店の中で取扱件数がトップになりました。不動産向け支援は、安定した収益の確保に向けて建物の耐用年数を越えた返済期間の設定や修繕費などを専門家に相談し、ポートフォリオを提案しています。

一方、支店の職員は21人中11人が20代の若手です。このため早期の戦力化を図っていくとともに、それ以外の職員についてはさらなるスキルアップが重要だと考え、毎週金曜日に勉強会を開いています。プレゼンテーション能力の向上を狙いに、職員自ら講師となって、みんなの

前で話すという訓練のほか、不定期で専門家による講義も開催しています。さらに、融資案件を通じて、上司や外部専門家との同行訪問なども実践しています。

千駄ヶ谷駅周辺は、2020年の東京五輪・パラリンピックに向けた国立競技場の立て直しが進んでおり、また、新宿駅南口周辺の再開発事業もあるため新たな資金需要が期待されます。当支店では貸金庫も全自動にリニューアルし、1日に何度でも利用できる環境になります。こうしたさまざまなトピックの機会をとらえ、顧客に最適なソリューションの提供でビジネスチャンスを広げていきたいと考えています。



井上信昭  
支店長

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-18-20  
代々木フォレストビル3F  
☎03・3341・4101  
※千駄ヶ谷支店は建て替え中のため仮店舗所在地です



#### キャブスアソシエーション

ブランド立ち上げから戦略の策定、コンテンツ制作、ECサイトの企画運営などブランドコミュニケーション活動の総合サポートを行う。さまざまなメディアを駆使して最適な戦略を提案する。高い専門性を武器に大手企業との直接取引で多くの顧客から厚い信頼を得ており、大手二輪車メーカーとは20年来の取引を続ける。昨年は主力オートバイのブランディング映像で「映像連アワード」（映像文化製作者連盟主催）経済産業大臣賞を受賞した。

#### <取引先紹介>

社会的存在価値を高めるため、今後、得意分野への集中をさらに推進していく。パブル崩壊などで苦境に立たされたとき、西武信用金庫が親身になって支援、それ以来の取引で、近年は「P」マーク取得のための専門家派遣を受けたり、ビジネスフェアへの出店で事業拡大に結びつきそうな企業との交流を図っている。

〒東京都渋谷区千駄ヶ谷1-20-12  
代表取締役 若山聖亮氏  
写真は成田裕一郎プロデューサー  
☎03・5770・1751

#### 東京宅配



兼ねてタイでベーカリーカフェ、マレーシアで日本茶カフェの運営も始めた。日本では本社ビル内に日本茶カフェを開業、大手百貨店から出店の引き合いもきている。

西武信用金庫からは、本社ビル建設やマレーシアでのカフェ立ち上げで融資を受けた。また、西武しんきんキャピタルからの投資もある。

〒東京都渋谷区千駄ヶ谷3-7-6  
代表取締役 永井慎巳氏＝写真  
☎03・5786・3322

<西武信用金庫>  
◎創業＝1959年 ◎店舗数＝本店を含め72店舗 ◎従業員数＝1164人  
◎貸出総額＝1兆2600億円 ◎預金総額＝1兆6436億6000円(2016年3月末現在)

### 幸町支店

### 課題創造型総合コンサル武器に地域内で価値向上図る



平田知之  
支店長

東京都立川市幸町2-11-34  
☎042・537・3101

当支店は、近年めざましい発展を遂げている東京・立川市を中心に、小平市の一部までを営業エリアとしております。貸出残高の約7割が法人で、不動産賃貸業が圧倒的です。このほかは、建設業、飲食・小売業、医療福祉などとなっています。①法人・事業支援活動②個人・資産形成支援活動③全体・ネットワーク作りの3つを支店の施策に掲げ、職員一人ひとりの性格・適性を生かした提案能力の向上と実績への反映能力の強化に努めています。こうした中でメインや重要顧客の法人に対しては、「経営課題を気づかせてあげて事業支援による解決策を提供していく」（課題創造型総合コンサル

ティング）という方針のもと、当支店でしかできないことを実行して地域内での価値向上を図っています。

事業支援策としては、不動産関連は個人・法人の資産入れ替えをはじめ、相続税関連の不動産投資案件や遊休地の活用、コスト削減に向けたコンサルティングなどが多岐にわたります。また、世代交代時期にある地主は相続に対する不安があるため、専門家派遣による相続税の付加価値提供などを行っています。建物の老朽化を背景とした空室対策や節税サポートも実施しています。

このほか、地域住宅メーカーや税理士、百貨店、高級自動車メーカーなどと

ネットワークを構築、新規先や富裕層開拓につなげています。一例として、建物を建設する地主に対し建設会社や紹介して資金援助する一方、建設会社にはつなぎ融資を実施します。こうした案件は顧客同士のマッチングになるだけでなく、地域活性化にも貢献します。税理士や司法書士、行政書士などを定期的に訪問し、緊密な連携にも力を入れています。

近年は、事業活動に積極的な法人や相続対策に前向きな資産家層が多くなってきています。また、景気好転により売上高が増加していることから、今後も顧客満足度のさらなる充実を図りながら、事業支援の強化に取り組んでいきます。



#### 砂川建設

東京・多摩地域を中心に1都3県で総合建設業を展開。創業は1957年で、来年60周年を迎える。大手建設会社ではコスト的に見合わず、また、小規模事業者では施工管理が困難な学校や幼稚園などの建設、更新を得意としているほか、東京・立川市と昭島市にまたがる昭和記念公園内の日本茶専門店「飲亭亭」の建築も手掛けた。

建設業界は2020年の東京五輪・パラリンピックの前に建設需要が減少するとみ

ている。しかし、長年培ってきた得意技術を武器に大手が苦手とする分野を強化することで将来成長を目指している。

西武信用金庫との取引は、幸町支店開設の98年から。建設業ながら長期の運転資金借り入れはなく、このため西武信用金庫とは、互いの営業推進に役立つ地域や不動産、遊休地の情報共有が中心。

〒東京都立川市砂川町5-17-8  
代表取締役 安藤明義氏  
写真は専務取締役の安藤明義氏  
☎042・534・0111

#### <取引先紹介>

倉庫業や貨物運送取扱業、不動産の売買・賃貸・管理・仲介などが主な業務。顧客とはオンラインによる入庫、保管、仕分け、発送、在庫管理、月次精算までトータル管理を行っている。倉庫は本社をはじめ全国に4カ所保有し、このほか長野県本上市などで倉庫を賃貸している。本社倉庫（敷地面積約3万9600平方メートル）では食品メーカーなど27社の商品を扱い、1つの倉庫としては全国最多。さらに茨城県など7カ所で太陽光発電事業を展開。東京・府中市と西京市でコ

#### 東京ロジテック



ンビニエンスストアのフランチャイズ事業も手掛ける。山梨県鳴沢村では約1万1550平方メートルのオートキャンプ場を運営、都内を中心に事業用ビルなど不動産賃貸業も。

社長の自宅と幸町支店の距離が近かったことなどから、1993年の創業時から取引。倉庫建設での融資のほか、太陽光発電事業ではパートナー紹介も受けた。

〒東京都瑞穂町箱根ヶ崎858-1  
代表取締役社長 反町伸道氏＝写真  
☎042・556・6671